

発行：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

問合せ：ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階

Tel：044-739-8720 / E-mail：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

2025年夏号の内容は…

- ★「こどもの居場所活動紹介ガイドブック」発行、助成金情報を探してみよう！
- ★「地域共生社会」に関連する図書の紹介
- ★ふくみみ登録団体「NPO法人 ホッとスペース中原」の紹介
- ★新着図書の紹介



「こどもの居場所活動紹介ガイドブック」第5弾を発行！

川崎市社会福祉協議会では『こどもの居場所活動紹介ガイドブック』を発行しています。このガイドブックでは、「かわさき福祉情報サイト ふくみみ」に掲載されている団体を中心に、市内でこども食堂 & 学習支援（78か所）、寺子屋事業（99か所）など、子どもたちの安心できる居場所づくりに取り組んでいる団体を紹介しています。

本ガイドブックの発行は今年で5年目となり、掲載団体は年々増加しています。「こども食堂に行ってみたい」「勉強をサポートしてほしい」「地域の活動に参加してみたい」という方は、ぜひこのガイドブックをご活用ください。



市社協HP ▶



川崎市社協や各区社協などで配布しています！

川崎市社協のHPからダウンロードできます

各区ごとに
見開きマップで掲載

助成金情報を探してみよう！

「かわさき福祉情報サイト ふくみみ」のホームページが一部リニューアルされ、助成金情報や「地域福祉情報バンク通信」、各種専門相談が、これまでよりも探しやすくなりました！

助成金情報のページでは、ボランティアグループや各種団体が申請可能な助成事業を一覧で紹介しています。川崎市社会福祉協議会が実施している「福祉基金助成金」や「高齢者ふれあい活動支援事業」のほか、全国規模で実施されている社会福祉や障害福祉の向上を目的とした助成事業も掲載しています。

対象となる活動や助成金の金額・申請方法などは、助成事業ごとに異なります。詳細は、それぞれの公式ホームページでご確認ください。

助成金情報は
こちらから

ふくみみHP ▶





「地域共生社会」に関連する図書の紹介

～地域福祉情報バンクで貸出しています～



「地域共生社会」とは、高齢者や障がいのある方、子育て中の家庭など、誰もが住み慣れた地域で安心して、その人らしく暮らし続けられる社会のことを指します。少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中で、互いに支え合いながら共に生きる地域づくりは、これまで以上に重要な課題となっています。

そこで今回は、地域での実践的な取り組みや、多様な支援のかたち、人と人とのつながり方が描かれた図書をご紹介します。ぜひ「共に生きる社会」について、一緒に考えてみませんか？厚生労働省の「地域共生社会のポータルサイト」も併せてご覧ください。



地域共生社会の
ポータルサイト
(厚生労働省)



物語で学ぶ

地域共生社会をつくるソーシャルワーク

地域における人間関係のもつれや孤立といった課題に向き合い、その解決を模索する過程を描いた物語です。専門職と住民、それぞれの視点を通して、つながりを失った地域が「地域共生社会」へと変わっていく歩みを丁寧に描写しています。

(植田寿之/創元社/2024年発行)



まちのえき 歩いて行ける拠点づくり

高齢化や免許返納が進む中、自治会館や公園などを歩いて行ける地域の拠点＝まちのえき(複合型コミュニティ)として活用している奈良県生駒市の取り組みを紹介。

行政の支援と住民の力で広がった取り組みは、地域共生社会・地域循環型社会のモデルとして大きな可能性を秘めています。

(小紫雅史/学芸出版社/2024年発行)



福祉施設からはじまる

多世代ごちゃまぜ地域共生社会

「誰一人として孤立させない」地域社会の実現に向けて、少子高齢化時代における地域福祉のあるべき姿とは…。

福祉施設を起点とした「地域共生社会」を実現するためのヒントが詰まった一冊です。

(権頭喜美恵/幻冬舎メディアコンサルティング/2024年発行)



過疎地域の福祉革命

過疎化が進む地域で深刻化する高齢者医療の問題点について、著者が現場で実践してきた多職種連携による包括的な支援の取り組みを紹介。

地域福祉の未来を考える上で、大きなヒントを与えてくれる一冊となっています。

(安田由加理/幻冬舎メディアコンサルティング/2024年発行)



どん底から見える希望の光

ともに生きる福祉(ケア)の実践

川崎市で教会を中心とした福祉事業を展開し、福祉と宣教の最前線で奮闘する著者が、どん底の人生を歩む人たちの出会いを通して見つけた29のストーリーを紹介。ケアにおいて本当に大切なこととは…。

(佐々木炎/キリスト新聞社/2019年発行)

次のページで紹介しています



関連図書

- みんなの社会的処方 人のつながりで元気になる地域をつくる (西智弘/学芸出版社/2024年発行)
- ゆるい場をつくる人々 サードプレイスを生み出す17のストーリー (石山恒貴 他/学芸出版社/2024年発行)
- 超高齢社会のまちづくり 地域包括ケアと自己実現の居場所づくり (後藤純/学芸出版社/2023年発行)
- ネイバーフッドデザイン まちを楽しみ、助け合う「暮らしのコミュニティ」のつくりかた (荒昌史/英治出版/2022年発行)



「NPO法人 ホットスペース中原」

NPO 法人ホットスペース中原は、「すべての人がホットとくつろげる場所と社会を創造したい」という思いのもと、1998年11月に活動を始めました。川崎市中原区を拠点に、今年で27年目を迎えます。

高齢者、障がい者、子育て世帯、子どもなど、さまざまな人々を対象に包括的な福祉サービスを提供しており、その取り組みは、デイサービスや訪問介護、グループホームの運営、ヘルパー派遣、学習支援、権利擁護活動など多岐にわたっています。

「ホットスペース中原」の代表を務める佐々木さんは、併設されている中原キリスト教会の牧師でもあり、「キリストの隣人愛の実践によってすべての人の尊厳を回復すること」を理念としています。当事者やその家族、専門職、ボランティア、地域の人々が協力し合い、誰もが互いの存在を認め合いながら共に生きるコミュニティとは？

地域に開かれた福祉の拠点として、住民とのつながりを大切にされている佐々木さんにお話を伺いました。



ホットスペース中原
佐々木 炎 代表

ケアをするうえで気をつけていることは？

一人ひとりの尊厳を大切に、その人らしい文化的な暮らしを支えることを心がけています。例えば、食器はプラスチックではなく陶器のものを使用し、トイレやお風呂の介助は同性のスタッフが対応するようにしています。また、レクリエーションも本人がやりたいものを自由に選べるように配慮しています。



常に「その人にとって最善のサービスとは何か」を考えながら、個別性を尊重した支援を行うよう努めています。

どのような時にやりがいを感じますか？

私たちが関わることで、利用者さまとご家族の関係が修復されることがあります。そんな場面に立ち会えたとき、とても嬉しく、大きなやりがいを感じます。

また、20年前に介護者として関わっていた方が、今度は介護を受ける側として再び来てくださることや、「〇〇さんに紹介されて来ました」と言っていただけでもあります。そうした言葉や再会から、これまで積み重ねてきたケアの取り組みが地域の方に認められたようで、非常に嬉しく思います。



地域とのつながりについて

「親子ふれあい広場」や「ホットカフェ」、「フードパントリー」などの活動には、地域の皆さんも参加されており、こうした場を通じて、自然なかたちで地域とのつながりが深まっています。

また、ひきこもりの方が社会復帰への一歩としてボランティア活動に参加したり、塾に通うことが難しい子どもたちに対して、大学生のボランティアが学習支援を行ってくれるなど、さまざまなかたちで地域の力が活かされています。



市民の皆さんにお伝えしたいこと

すべての人は、誰かからケアを受ける存在であると同時に、誰かをケアする存在でもあります。年齢や経験に関係なく、さまざまな人が交流し、協力し合うことで、自分自身の成長にもつながり、地域全体のつながりが深まっていくと感じます。

ぜひ、福祉に少しでも関心をもっていただき、何らかのかたちで関わっていただけると嬉しいです。関わることで、自分自身も、そして社会全体もより豊かになります。

皆さんも、地域とつながりながら一緒に活動してみませんか？



NPO法人 ホットスペース中原

〒211-0041 川崎市中原区下小田中1-19-21
TEL : 044-777-7599
HP : <https://hotspacenakahara.org>



ホームページ

HPでは様々な活動を
紹介しています



新着図書の紹介

蔵書検索は『ふくみみ』で！
http://k-fukumimi.com/



【図書】（書名／著者名／出版社）

- 文化としての保護司制度 立ち直りに寄り添う「利他」の
ところ／今福章二／ミネルヴァ書房
- なぜ罪に問われた人を支援するのか？ 犯罪行為を手離す
方法をさぐる／掛川直之／旬報社
- 職員・利用者・地域を結ぶ ひとつなぎの介護施設／
久野佳子／幻冬舎メディアコンサルティング
- 遺言適齢期 予防医療と予防相続で争続は防げる／
圓井順子／幻冬舎
- 墓じまいラプソディ／垣谷美雨／朝日新聞出版
- その朝は、あっさりと／谷川直子／朝日新聞出版
- 介護格差／結城康博／岩波書店
- 義父母の介護／村井理子／新潮社
- 子どもが喜ぶことだけすればいい／佐々木正美／ポプラ社
- 障害のある子が生まれても。／さくら／A-Works
- 読み書きが苦手な子を見守るあなたへ 発達性読み書き
障害のぼくが父になるまで／関口裕昭／ポプラ社
- 障害のある人の親がものを言うということ 医療と福祉・
コロナ禍・親亡き後／児玉真美／生活書院
- あの子のちがいは価値になる モノづくり父さん障害児
家族の発明活用ストーリー／廣瀬元紀／三輪書店
- ダウン症で、幸せでした。 10年追いかけて分かった幸福
の秘密／姫路まさのり／東京ニュース通信社
- 発達が気になる子どもが小児科の専門外来を受診するとき
診察室で行われていること／柏木充／金子書房
- 発達が気になる幼児が療育センターを受診するとき 子ど
もの育ちと発達のみかた・かわりかた／宮地泰士／
金子書房
- 〈逆上がり〉ができない人々 発達性協調運動症（DCD）
のディストピア／横道誠／明石書店
- 避災と共災のすすめ 人間復興の災害学／永野海／
帝京大学出版会



- 民生委員のための一人暮らし高齢者支援・見守りQ&A／
小林雅彦／中央法規出版
- 相談対応、私はこうしています 具体的すぎる指南書／
佐藤健太／幻冬舎
- 精神疾患をもつ人への支援で、壁にぶち当たったら読む本
巻きかえしの技教えます／小瀬古伸幸／医学書院
- 抗がん剤を使わなかった夫 すい臓がんと歩んだ最期の
日記／倉田真由美／古書みつけ
- 傷の声 絡まった糸をほどこうとした人の物語／
齋藤塔子／医学書院
- なぜ人は自分を責めてしまうのか／信田さよ子／筑摩書房
- 思春期心性とサブカルチャー 現代の臨床現場から見えて
くるもの／岩宮恵子／遠見書房
- 自分に嫌われない生き方／谷口たかひさ／KADOKAWA
- 雨の日の心理学 こころのケアがはじまったら／
東畑開人／KADOKAWA
- カフネ／阿部暁子／講談社

【漫画・コミック】（書名／著者名／出版社）

- 耳がきこえないママときこえるムスメのおはなし。／
うささ／白泉社
- 耳がきこえないうささ ウワサのユニバーサルスポットを
ゆく／うささ／産業編集センター
- 娘がいじめをしていました／しろやぎ秋吾／KADOKAWA
- 娘はいじめなんてやってない／しろやぎ秋吾／
KADOKAWA
- すべては子どものためだと思ってた／しろやぎ秋吾／
KADOKAWA
- ムーちゃんと手をつないで 8巻
Shrink 精神科医ヨワイ 15巻
「子供を殺してください」という親たち 17巻
リエゾン こどものこころ診療所 20巻

コミックの続編が
入りました



川崎市社会福祉協議会の公式SNSでは、社協が実施している事業や活動、地域での取り組み、福祉に関する情報などを発信しています。「地域共生社会」について考える第一歩として、まずは身近な地域について知ることから始めてみませんか？ぜひ公式 LINEの友だち登録と、YouTube「ななふくチャンネル」のチャンネル登録 & フォローをお願いします！社協の活動や地域福祉に、少しでも関心を持っていたら嬉しいです。

「地域福祉情報バンク通信」についてのご意見・ご感想もお待ちしております。次号は10月1日発行予定です。どうぞお楽しみに。



川崎市社協
公式 LINE



YouTube
ななふく
チャンネル

